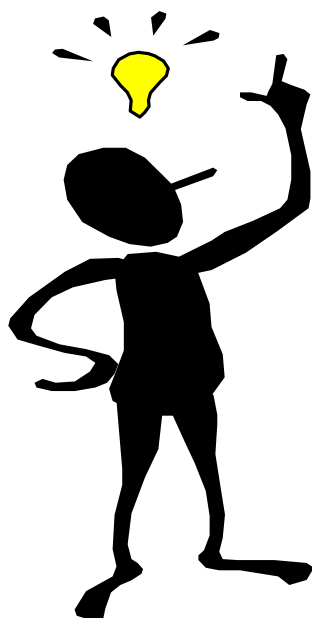


2012年 海外語学研修

参加のススメ



<文部科学省 スポーツ・青少年局 所管>

財団法人 国際青少年研修協会

〒108-0073 東京都港区三田 5-7-8 シャンボール921

Tel:03-6459-4661 Fax:03-6459-4633

E-mail: info@kskk.or.jp URL: <http://www.kskk.or.jp>

海外研修に参加するにあたって

<目 的>

本会の海外派遣事業は、諸外国の人々との共通体験（ボランティア活動・学校生活・交流行事・家庭滞在など）を通じて、海外の生活環境や考え方を学ぶとともに、民族や文化そして言葉や習慣の違いをのり越えて人間として共感することを学びます。さらに日本や日本文化を紹介することによって相互の理解と交友を深め、今後の国際化社会を担う青年の健全な育成に寄与することを目的としています。

<海外研修のポイント>

1. 外国を知る事

その国の文化・風習・生活様式そして考え方などの体験を通じて学ぶことから、相手の立場に立って物事が判断できるように広い視野と国際性を身につける。

2. 日本を知り、知ってもらおう事

この機会に改めて日本について見直して自ら正しく理解し、そして、外国の人々に日本を理解してもらうように努力する。

3. 相互理解を深める事

見て、体験すること。そして出会いと対話を通じて共通点や違いを発見し、相互の理解を深めると共に、世界がいろいろな人々と様々な文化によって成り立っていることを知る。

4. 将来にわたって交流をはかる事

心を開いて親しく交流をはかり、今回限りではなく、将来にわたって交友関係を続けていく。



<ホームステイについて（共通）>

1. 基本的な心得

ホームステイに対する考え方の基本は、【自宅の部屋を貸す】という考え方に基づいています。従って、日本的なアットホームなホームステイとは異なりますので、あらかじめ心得ていてください。この考えの特徴は「お互いに個人のプライバシーを尊重する」ということです。ホームステイされる方が積極的にホストファミリーに関わろうとしないと、彼らは「この子はおとなしくて一人であることを望んでいるのだろう」と考えがちです。ホームステイされる方は、自ら積極的にコミュニケーションを取るよう心がけてください。又、同じホスト宅に他の国からの留学生がホームステイをしている場合があります。これも、この国では当たり前のことですので「交流のチャンス」と考えてください。

(1) 家族の一員としてふるまいます。お客様ではありません。

(2) 自分の身のまわりはいつもキチンとしておきましょう。

- a. 部屋の掃除、ベッドメイキング
- b. 自分のトランクや私有物は、常に整理整頓しておきましょう。
- c. 貴重品（パスポート・現金など）は自分で大切に保管。

(3) 自分にできそうな家事手伝いなどは、すすんで手伝いましょう。

コミュニケーションをはかる良いチャンスです。

(4) 自分の部屋に引きこもらないようにしましょう。

(5) コミュニケーションをはかる努力をしましょう。

- a. 「沈黙は金ではなく“禁”」自分の持っている英語の知識と単語力をフルに使って、チャレンジしましょう。
- b. 辞書や身ぶり手ぶりもフル活用しましょう。
- c. Yes, No をハッキリ伝えましょう。
- d. 挨拶や Thank you, Please, Excuse me の気持ちを忘れずに表現しましょう。

(6) わからないことは遠慮せずに聞きましょう。

- a. わかるまで恥ずかしがらずに何度も聞きなおしましょう。

(7) 家族のプライバシーを尊重しましょう。

(8) 得意なことは積極的に披露しましょう。（料理・スポーツ・音楽・遊びなど）

(9) できるだけ音をたてないで物を食べるのがマナー。

(10) 家族の規則（ルール）に従いましょう。

(11) 水はとても貴重です。シャワーなどの時間に注意しましょう。

- a. シャワーは手短かに済ませるのがポイント。使用後は清潔に。

(12) 無断外出、無断外泊は厳禁。外出時には外出先、帰宅時間等をファミリーに伝えましょう。

(13) ホストファミリーと映画や遊園地、レストラン等に行った時、自分の入場料や食事は自分で払うように申し出ましょう。ファミリーが支払ってくれる時は、素直に「Thank you」と感謝の気持ちを伝えましょう。

2. お土産

お世話になるホストファミリーへお礼の意味でお土産を用意しましょう。家族に1つで結構です。高価なものはありません。

- (1) 日本的な物、郷土の工芸品、手作りのものがあれば喜ばれます。
- (2) 金額で言えば 3,000 円～ 5,000 円程度のもの。
- (3) その他、滞在中に出会う人に渡せる小物（絵ハガキ・キーホルダー等）を持って行くと役に立ちます。

3. 注意事項

- (1) 電話を使用する時は、必ず事前にホストファミリーの許可を得ましょう。深夜の電話や日本への国際電話は控えましょう。どうしてもかけなければならない場合は受信人払い（コレクトコール）にしましょう。
- (2) 体の調子が悪い時は、まずホストファミリーに知らせて下さい。

<コミュニケーションを図る為に>

1. 自分を紹介する資料を作っておきましょう。

滞在先ではホストファミリーを始めとして、初めて会う人ばかりです。そんな時のために、自己紹介を出るように資料を準備しておくが良いです。

(1) 家族や友達・学校など自分に関連する写真。

(2) 趣味・好きなスポーツ・特技などを知らせて、実演したり一緒にしたりする。

*自己紹介のデータ 氏名・年齢・趣味・特技・職場や学校・クラブ活動・将来の夢
両親の仕事や趣味・兄弟・ペット

2. 行動で自分を紹介しよう

得意なもの(日本料理・楽器・武道など)をすすんでやってみましょう。

コミュニケーションの手段として、日本料理を作ってみましょう。

(例：おにぎり・みそ汁・お好み焼き・肉じゃがなど)

3. 日本や住んでいる所・伝統文化・歴史の紹介

(1) 絵ハガキ・地図・写真などで知らせる。

(2) 簡単な資料を持っていく。(役所や役場、郷土資料館などからパンフレットを集める)

4. 疑問点や聞いてみたいことなど行く前に準備しておく

<海外での注意点>

1. DRUG (麻薬) について

海外では“DRUG”と呼ばれる麻薬の使用が多発しています。DRUG には高価なものから簡単に買えてしまうものまでありますが、全て違法で、中毒になり身を滅ぼすことになります。恐ろしいことに DRUG と知らずに使用してしまい、その後やめられなくなってしまいます。アメリカでは子供が好むような“刺青”のような肌に張るシールの裏に LSD という DRUG が付いていて、何も知らずにシールを買い求めて影響を受けて行く例もあります。法律に違反した場合は、外国人であろうと容赦なく厳しい罰則が課せられています。DRUG の重大さを認識すると共に、日本人だから許されるという考え方は捨ててください。

2. 差別語 (沢山ありますが、基本的には日本語でも差別語と言われている言葉は特に気をつける)

例： JAP JAPANESE の差別語 CHINA CHINESE の差別語

YELLOW 東洋人の差別語(黄色人種) NEGRO/BLACK 黒人の差別語

* 差別語とは異なりますが特に女性が男性と話す時に使用しないほうが良い言葉。

(誤解を招いてしまう表現) 例： What do you want? (何がして欲しいですか?)

返答も『なんでもやります』という内容は誤解されたり、からかわれます。

3. しぐさ・動作・呼び方の違い

*Middle Finger (中指) で物を指してはいけません。

特にすれたメガネを直す時には、中指を使うと滑稽に見られる。

*お金の表現

*手招きの違い

*自分の指し方

*両親 Mom, Dad

*男性 Sir

*女性 Miss, Mom, Ms

*先生の呼び方 Teacher (日本で「先生」という呼び方はしません。

Mr. _____ Ms. _____ と呼ぶのが普通です。

*Excuse me “失礼します”の意味。謝りとは限らない。

*Sorry 自分に非があるときのみ使う。

4. 街などで

道などを歩く時には、何か目的を持って歩くようにする。ただフラフラしているように見られると、ねられる可能性も高くなります。特に慣れない場所に行く時は、その周辺の人々の格好・雰囲気を確認、危なさそうであれば絶対に無理しないこと（人が無いところには、出入りしないようにする。ぶっそうな人に会ったり、場所に出くわしたりしたら引き返し、回り道をする）。もし何か危険な目に会いそうな時には、あわてないこと。あわてて何かしようとする、相手は抵抗されたと勘違いして、危害を与えてくる場合があります。お金目当ての場合は渡せば相手は逃げて行きます。しかし、この時ジャケットの内ポケットやズボンのうしろのポケットに手をやると、ピストル等の凶器を取り出す行為と間違っているとられ、かえって傷つけられる恐れがあるため気をつけましょう。

5. 服装について

あまり目立つ格好をせず、その地域に馴染むようにする。現金を持ち歩く場合は必要最低限にすること。日本人の旅行者が多額の現金を持ち歩くことは、世界中どこでも評判であり狙われやすいのが現実です。財布をかばんの中に入れる場合は、一番上ではなく、入っているものが外から見えないものを使用することをおすすめします。スリは無防備な人を狙います。また、所持品は常に手放さないようにしましょう。ほんの2～3秒床に置いてただけで無くなることもあります。

6. その他

自分の意見はしっかり言うことが大切。わからないことは自分から確認しましょう。そのままと分かっているものとして終わってしまい、後で困ることになります。自分で行動を起こさないと興味・やる気がないと思われ、そのままになってしまうので、できなくても何事にも誠意と意欲を見せることが大切です。わからない人、できない人が悪いとする風潮はないので、はずかしがる必要はありません。“Shy”はよくない事として評価されてしまいます。外国の人は自分の意見をはっきり言うので注意されたり反論されたりすると、日本人は傷ついてしまうことがあります。外国の人達は問題を解決することが大切だと思っているので、あまり感情的な意味はなく解決できれば、尾を引くということはありません。自分が正しいと思えば、そのことをきちんと相手に理解させれば、わかってもらえることも多いと思います。日本人のように以心伝心ということはあまりなく、問題を解決するプロセスが必要となり、思ったことは口に出す必要があります。ガマンしていても通じていない場合が多いので気をつけましょう。自分のやりたいことはきちんと伝えるようにしましょう。遠慮していると相手に通じないことが多く、相手も言ってくれた方がいいと思っています。日本人程、気を使ってくれるということはなく、その分自分の主張が大切にされます。

ホームステイ先では、相手の価値観・生活習慣を学び理解することが一番の目的です。従って、どんなことにも挑戦してみる事が大切です。たとえ嫌なことがあったとしても、黙って自分を押し通すより『日本ではこんな風に違うのですよ』と一こと言ってみると、相手も理解しやすく興味を持ってくれます。相互交流というのは、お互いの文化を理解し、お互いを尊重する前向きな態度があってこそ、達成されるものです。また、受け入れてくれるホストファミリーには感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。できるだけ、自分も家族の一員として行動し、進んでお手伝いや会話をするように心がけて下さい。

“失敗は成功のもと”と信じ何にでもチャレンジ精神を持って行動しよう。

<その他の準備について>

- (1) 教会や他の家を訪れることもありますので、清楚な服装を1着持っていくと良いです。男性はスラックスにワイシャツかポロシャツ、女性はワンピースなど。
- (2) 持ち物の欄を参考に、出来るだけ少なめに用意してください。

(25kg程度に収めて下さい。超過分は請求された場合各自負担です)